

国内事業

当社の主力製品市場である国内大型・中型トラック市場においては、景気回復の遅れによるトラック輸送量の伸び悩みや、改正自動車NOx(窒素酸化物)、PM(粒子状物質)法の経過措置による買い控えなどにより、総需要は、前年比**1,751台(2.3%)**減少し、**75,431台**となりました。小型トラック市場においても、同様の理由から総需要は低迷し、前年比**13,139台(12.0%)**減少して**95,910台**となり、統計開始以来はじめて、総需要で**100,000台**を割る状況となりました。



「スーパードルフィン・プロフィア テラヴィ」
「スーパードルフィン・プロフィア テラヴィ」のエンジンには、コモンレール式燃料噴射システム、VGターボ、世界初のパルスEGRシステムなどの先進技術が採用されています。

大・中型トラックの販売台数及びシェア

2002年3月期の当社の国内大型トラック販売台数は**10,290台**となり、1967年度以降、過去最低となりました。シェアは前期比**0.8ポイント**減少の**28.1%**となりました。

中型トラックでは、2001年12月に発売した新中型トラック「レンジャープロ」の売上が順調に推移したことにより、販売台数は**11,801台**となりました。シェアは前期比**1.8ポイント**増の**30.4%**となりました。

大型と中型を合わせた販売台数においては、前期比**109台**減少の**22,091台**となったものの、シェアにおいては、前期比**0.5ポイント**増の**29.3%**となり、**29年**連続してトップシェアを堅持しました。

小型トラックの販売台数及びシェア

2002年3月期の当社の国内小型トラック販売台数は、前期比**1,183台**増の**10,095台**となりました。小型トラック市場全体としては厳しい状況の中、小型トラック「デュトロ」の販売を一段と強化した結果、国内小型トラック市場全体でのシェアは、前期比**2.3ポイント**増の**10.5%**となり、目標であったシェア**10%超**を達成しました。



「レンジャープロ」
12年ぶりに全面改良し発売開始した中型トラック「レンジャープロ」は、新開発の高効率低燃費エンジン、空力特性の優れたキャブにより、燃費の大幅向上を実現しました。

「デュトロ」マイナーチェンジ車
ワイドキャブのLPG車とガソリン及びLPGのダンプ車を追加、また粒子状物質(PM)を大幅に低減するPMトラップをオプション設定するなど、さらにバリエーションを充実しました。



バスの販売台数及びシェア

2002年3月期の国内バス市場の総需要は、前期比**781台(8.6%)**増とはいえ、1万台割れの**9,877台**となり、引き続き長期低迷の傾向にあります。

このような環境の中、当社は新型バスを各種投入しました。

2001年8月には、2000年騒音規制に適合した小型バス「リエッセ」シリーズを発売しました。同年9月には、大型乗合・送迎バス「ブルーリボンシティ」シリーズにおいて、ディーゼル・電気ハイブリッドシステムをさらに進化させた「HIMRワンステップバス」と、CNG(圧縮天然ガス)を燃料とする「CNGノンステップバス」を発売しました。また、従来の路線バスが入り込めない商店街や住宅地等向けに、ノンステップタイプのコンパクトなコミュニティバス「ポンチョ」を開発、2002年4月より一部の自治体、バス運行事業者を通じモニター運行を開始しております。

その結果、国内バス販売台数は、前期比**19台増の2,007台**となりました。国内バス市場全体でのシェアは、大型バスでのシェアダウンの影響により、前年比**1.6ポイント減の20.3%**となりました。

人にやさしいノンステップバスの普及や排出ガスの一層の低減など、当社は、市場ニーズに対応した製品を今後も投入していくことで、国内バスシェアを伸ばしていきたいと考えています。



「ブルーリボンシティ CNGノンステップバス」
「ブルーリボンシティCNGノンステップバス」は、ハイレベルな低公害技術の採用と交通バリアフリー法に適合、さらにノンステップバス標準化仕様に対応しています。

* 国内市場における「販売台数」は「登録台数」であり、売上台数とは若干異なります。



ノンステップミニバス「ポンチョ」
すべての人にとって乗り降りが楽な、また狭い市街地で機動性を発揮するノンステップタイプのコンパクトなコミュニティバス「ポンチョ」を開発、2002年4月よりモニター運行を開始しました。

海外事業

海外市場におけるトラック・バス販売台数は、前期比**2,068台増の21,448台**となりました。市場別の販売台数としては、主力市場のアジアでは前期比**1,467台増の11,290台**となりました。また、中南米市場では前期比**1,882台増の3,578台**となり、大幅な販売台数増となりました。大洋州市場では前期比**241台増の2,736台**となりました。北米市場では、前期比**753台減の2,149台**となりました。